

授業 科目	CS1H49	2単位	選択	演習	1年通年	担当 教員	仲条幸一 山口瑞穂					
	音楽表現実践演習 I						岡部玲子 山本紀乃					
授業の概要	① 演習科目「幼児音楽Ⅱ」で行う個々の進度に応じたピアノ個人レッスンを、知識・技能・表現力の面で補う授業である。 ② ミュージックフェスティバルを通じて舞台表現のための基礎知識と技能を習得する。 ③ 毎週提示される課題に関して、毎日の継続した取り組みが大切となる授業である。											
到達目標					学習成果Ⅰ		学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ			
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1. ピアノの演奏や子どもの歌の伴奏をするための知識を学び、技能を習得する。					○	○		○		◎		
2. 各自が一表現者として感性を磨き、美しいものに対する感動や共感の気持ちを持つことができる。					○	○	○	○		◎	○	
3. 子どもの歌や童謡を歌いながら、ピアノを弾くことが出来る。					○			○		○	◎	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション	シラバスに目を通し、授業内容について理解しておく。	1年間の授業展開の進め方について理解し、西洋音楽を学ぶ上での楽典を学ぶ。				練習方法を確認し、課題が与えられた場合はその課題を練習する。					
2	読譜力向上	前回のプリントを確認しておく。	ト音記号の読譜力を向上するためのトレーニングを行う。				ハ長調の音階、和音、主和音・属七の和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
3	読譜力向上	前回のプリントを確認しておく。	ヘ音記号の読譜力を向上するためのトレーニングを行う。				ト長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題と、指導された内容を復習する。					
4	ハ長調の音階、和音、主和音・属七の和音	前回のプリントを確認しておく。	ハ長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題をピアノ練習し、体得する。				ハ長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題と、指導された内容を復習する。					
5	ト長調の音階、和音、主和音・属七の和音	前回のプリントを確認しておく。	ト長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題をピアノ練習し、体得する。				二長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題と、指導された内容を復習する。					
6	ニ長調の音階、和音、主和音・属七の和音	前回のプリントを確認しておく。	二長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題をピアノ練習し、体得する。				二長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題と、指導された内容を復習する。					
7	ヘ長調の音階、和音、主和音・属七の和音	前回のプリントを確認しておく。	ヘ長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題をピアノ練習し、体得する。				ヘ長調の音階、和音、主和音・属七の和音の課題と、指導された内容を復習する。					
8	ピアノ個別対応	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	幼児音楽Ⅱに関連したピアノ技能に関するレッスンを受け、ピアノ技能を向上する。				ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。					
9	ピアノ個別対応	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	幼児音楽Ⅱに関連したピアノ技能に関するレッスンを受け、ピアノ技能を向上する。				ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。					
10	生活の歌（1-1）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの指導を受ける。				子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの内容を復習する。					
11	生活の歌（1-2）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの指導を受ける。				子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの内容を復習する。					
12	生活の歌（1-3）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの指導を受ける。				子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの内容を復習する。					
13	生活の歌（1-4）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの指導を受ける。				子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの内容を復習する。					
14	生活の歌（1-5）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの指導を受ける。				子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの内容を復習する。					
15	生活の歌（1-6）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの指導を受ける。				子どもの生活に関連する歌のピアノ弾き歌いの内容を復習する。					
16	創作活動・表現発表準備	舞台での表現発表についてイメージを膨らませておく。	ミュージックフェスティバル（以下、MF）表現発表内容について検討する。				学習した子どもの歌を復習する。					
17	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現内容の創作と練習をする。発声法・歌唱法を学ぶ。				舞台発表でのそれぞれの担当箇所を復習する。					

18	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現内容の創作と練習をする。発声法・歌唱法を学ぶ。	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を復習する。
19	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現内容の創作と練習をする。発声法・歌唱法を学ぶ。	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を復習する。
20	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現内容の創作と練習をする。発声法・歌唱法を学ぶ。	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を復習する。
21	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現内容の創作と練習をする。発声法・歌唱法を学ぶ。	自らの課題に気づき、表現の細部までこだわりを持って練習する。
22	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現内容の練習をする。内容の繋ぎ方の効果について学ぶ。	自らの課題に気づき、表現の細部までこだわりを持って練習する。
23	創作活動・表現発表準備	舞台発表でのそれぞれの担当箇所を練習する。	表現発表準備、舞台表現と作法・会場運営について理解を深める。	共演者と連携し、客観的な視点を持って発表の準備をする。
24	ミュージックフェスティバルにおける表現発表リハーサル	表現発表の準備をする。	舞台表現発表（合唱・合奏・創作作品）のリハーサルを通じて、舞台の音楽表現に必要な事項を確認する。	共演者と連携し、客観的な視点を持って発表の準備をする。
25	ミュージックにおけるフェスティバル表現発表	表現発表の準備をする。	舞台表現発表を通じて音楽的なコミュニケーション力・表現力を培う。	各自発表の振り返りをしておく。
26	個別対応	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	幼児音楽Ⅱに関連したピアノ技能に関するレッスンを受け、ピアノ技能を向上する。	ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。
27	個別対応	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	幼児音楽Ⅱに関連したピアノ技能に関するレッスンを受け、ピアノ技能を向上する。	ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。
28	個別対応	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	幼児音楽Ⅱに関連したピアノ技能に関するレッスンを受け、ピアノ技能を向上する。	後期末試験課題曲の練習をする。 ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。
29	後期末試験課題曲	後期末試験課題曲の仕上げをしておく。	後期末試験課題曲の完成に向けて授業展開する。	後期末試験課題曲の練習をする。 ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。
30	後期末試験課題曲	後期末試験課題曲の仕上げをしておく。	幼児音楽Ⅱに関連したピアノ技能に関するレッスンを受け、ピアノ技能を向上する。 後期末試験課題曲の完成に向けて練習する。	後期末試験課題曲の完成に向けて練習する。 ピアノレッスンセンターを朝や放課後に活用し、自主練習に取り組む。
成績 評価	<p>一年間の中でピアノの実技テストを数回実施し、その結果で60%の評価とする。</p> <p>MF（ミュージックフェスティバル）の授業取り組みを40%とする。</p> <p>なお、ピアノの実技テストについては、その曲が完成するまで再テストを行う。</p>			
教員からのコメント	<p>本授業は「幼児音楽Ⅱ」で担当しているピアノ担当教員の指導を補助する内容で構成するだけでなく、本科目が独自に設定する課題に取り組んでいただくことになります。予習と復習をかかさず実施し、わからないところや疑問点は遠慮なく質問してください。</p> <p>16回目の授業（後期）からはミュージックフェスティバルの練習がはじまります。表現を学ぶ大切な取り組みですので、積極的に参加、練習して下さい。</p> <p>本科目独自のテストも数回実施します。詳細は、その都度指示します。</p>			
教科書	「幼児音楽Ⅱ」で使用するテキストを本講義でも使用する。		推薦図書	「幼児音楽Ⅱ」で使用するテキストを本講義でも使用する。